

令和 8 年度 もとまちエルモ 事業計画書

1 今年度の目標

・HP を更新し、積極的に情報発信を行うことで地域での認知度と高める。
・地域課題のうち、一番深刻な住民間のコミュニケーション不足を解決するため、各種事業を開催し、新たな賑わいづくりの場を創り出す。
・多文化共生社会地域なので、どのようにしたら関わっていけるかを考えていく。
・企業を通して、地域住民との関係作りをする。

2 ひろしま LMO 運営助成金を活用する事業

1 事業名	敬老会	(6) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 9 月 20 日 ～ 令和 8 年 9 月 21 日	
(2) 実施場所	基町小学校 体育館	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 基町地区社会福祉協議会 もとまちエルモ	
4 取組内容	基町地区「三大行事」の一つである敬老会について本年度も「もとまちエルモ」の事業として地域の長寿者をお招きし、お弁当をふるまい、ステージ発表を披露し、敬老のお祝いをする。 特例的入居者に若い世代、外国籍の方々とともに準備・作業し、地域行事の継承と世代間の交流、新たな担ぎ手の確保を図る。 前日準備：地域住民、敬老会役員、地域役員で会場準備を行う。 当 日：参加者受付、進行の手伝いを行い、終了後の後片付けを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 高齢者の方々に地域行事に参加して頂き若き日を思い出していただき、楽しい時間を過ごしていただく。 高齢者率の高い基町地区において皆様が今できることを見つけてもらい、生きがいを見つけていただく場とする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の多くの方が集うことで、心の健康と身体の健康を図る。 若者と関わることで、自分たちの経験を伝えていただいて、コミュニケーションを図れる	

1 事業名	体育祭	(6) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 10 月 1 日 ～ 令和 8 年 10 月 18 日 (予備日 10 月 25 日)	
(2) 実施場所	基町小学校 校庭	
(3) 参加者数	300 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 基町地区社会福祉協議会 もとまちエルモ	
4 取組内容	基町地区「三大行事」に一つである体育祭について「もとまちエルモ」の事業として地域の児童から高齢者までが集い体力維持、こころの健康を図る。 特例的入居者の若い世代、外国籍の方々とともに準備・作業し、地域の行事の継承と、世代間の交流、新たな担ぎ手の確保を図る。 前日準備：地域住民、地域役員で会場準備を行う。 当 日 ：参加者受付、進行の手伝いを行い、終了後の片付けを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 地域行事で一番多くの方が集まる事業であり、スポーツを通して、多文化の方々はもちろん、未就学児から高齢者の方々が顔を合わせ触れ合うことで、世代間・多国籍間のコミュニケーションの場にして地域の活性化を図る。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 地域の多くの方が集い、スポーツを通してお互いを認め合える地域づくりが期待できる。 地域内で最も多くの方が集まるこの事業を通して、普段関わることが少ない方とも積極的に交流・声掛けを行うことで、新たな担ぎ手の確保につなげる。	

1 事業名	こいこい祭り	(6) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月 1 日 ～ 令和 8 年 11 月 30 日	
(2) 実施場所	ショッピングセンター中央広場	
(3) 参加者数	300 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 もとまちエルモ	
4 取組内容	昨年までは民生委員の方々が中心に開かれていた秋祭り（こいこい祭り）を「もとまちエルモ」が地域課題解決事業の一つに取り上げて開催する。もとまちエルモがすべてを準備するのではなく、出店する団体を募集して自主運営をしていただき、各団体の自主財源で出店していただく。もとまちエルモは全体的な企画運営を行い、資金援助は行わない。 特例的入居者の若い世代、外国籍の方々とともに準備・作業することで、こいこい祭りを多文化推進、世代間の交流、新たな担ぎ手の確保を図る場にしていく。 前日準備：地域住民、地域役員で会場準備を行う。 当 日 ：参加者受付、進行のお手伝いを行い、終了後の後片づけを行う。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域行事に定着させて、基町の秋祭りにしていき、地域住民の情報交換、交流の場として楽しい時間を過ごしていただく。また、多文化の交流の場にできるような地域事業にしていく。各団体が、地域の活性化に関わっていただき、「自分たちのまちは自分たちで作り、守る」ことを考えて頂き、「共助」の精神に基づく住民主体のまちづくりを進めていく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 地域の多くの方が集うことで、多文化、多世代の地域のコミュニティが図れる。各団体が自立を考え、自主財源を生む場にできる。	

1 事業名	防災事業	(6) 事業中 (4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(8) 地域の防災又は減災に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 11 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	基町小学校 体育館 他	
(3) 参加者数	100 人 (見込み)	
(4) 主催団体	団体名 基町地区自主防災会連合会 もとまちエルモ	
4 取組内容	去年からの引継ぎで、必ず来る「南海トラフ地震」を想定して、一般的な防災知識、特に高層アパートにおける防災知識を習得できる講習・体験等の防災イベントを企画・実施し、去年度からの知識の積み重ねを図る。 地域防犯への意識を深めてもらい、自分のこととして理解してもらい「自分の命は自分で守る」には何をしないといけないか、それが家族、周りの方を助けることに繋がる事を学ぶ。	
5 目的・効果	(1) 目的 (どうして実施するのか。実施する背景は何か。) 一般的な防災、高層アパートでの防災についての知識の習得を図る行事を通して、地域住民の防災知識を高める。 また「南海トラフ地震」を想定して基町ならではの対策、対応を学び地域住民の繋がりを作る。 (2) 効果 (事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。) 毎年の行事などの積み重ねにより、住民一人一人にとって防災が身近な事として考えて頂けるようになる。 国籍・年齢を問わず全住民が関係する「防災」をテーマに取り上げることで、地域住民の身近な人間関係を深める事業になる。	

1 事業名	多文化共生社会を考える	(6) 事業中 (5) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	もとまちエルモ・基町小学校相談室	
(3) 参加者数	30 人（見込み）	
(4) 主催団体	団体名 もとまちエルモ	
4 取組内容	多文化共生社会になっている地域なので、どのようにしたら関わっていけるかを考えていく体制創りをしていく。 もとまちエルモ連携団体「基町小学校」・「中央公民館」・M98 との情報交換を行う。 地域外の団体（平和文化センター）との情報交換を進めていく。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域の活性化に多文化を外しては考えられないので、もとまちエルモ連携団体、地域外の団体との情報交換を進めていき、何から始めたらいいかを考える。 多くの方に関心を持っていただき、多文化の活動ができる場を創っていく。 まずはお互いが、地域であいさつができるようにしていきたい。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 連携団体などにも関わってもらい、地域における多文化の現状を把握していただくことで、関係者が一体となって地域課題に取り組んでいくことができる。 出来ることから始めていき、お互いの理解促進を一步ずつ進めていくことで、少しずつでもコミュニケーションが図れるようになる。	

1 事業名	地域企業との連携事業	(6) 事業中 (6) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(12) 地域の魅力の向上に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和 8 年 4 月 1 日 ～ 令和 9 年 3 月 31 日	
(2) 実施場所	基町学区	
(3) 参加者数	3000 世帯	
(4) 主催団体	団体名 もとまちエルモ	
4 取組内容	地域企業との連携を深める目的でサンフレッチェ広島のチケット販売を通して、地域住民と顔が見える関係作りを継続していく。 NTT、サンフレッチェ広島主催のイベントで店舗を出店させいただく。 前年度、NTT、サンフレッチェ広島の協賛を得て作った幟を今年度も機会があるごとに立てさせて頂き、両社との繋がり作りを進めていく。 地域行事で使用する物品等を保管する物置を、NTT の協力を得てヒロパ内に設置する。	
5 目的・効果	(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） チケット販売、幟を立てる事で「もとまちエルモ」の認知を進めていく。 地域企業との連携事業をより進めていくことで、より良い関係の構築に繋げていくとともに、一緒になって地域を盛り上げていく。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 企業と地域の方々とのふれあいが増えて、お互いで情報交換するきっかけができることが見込まれ、それにより企業・地域間の良好な関係構築や地域の活性化も期待できる。 NTT、サンフレッチェ広島の事業について関心を持っていただける事で、イベントにも積極的に参加してもらえる様になる。	

3 自主財源で実施する事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	取組内容